

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

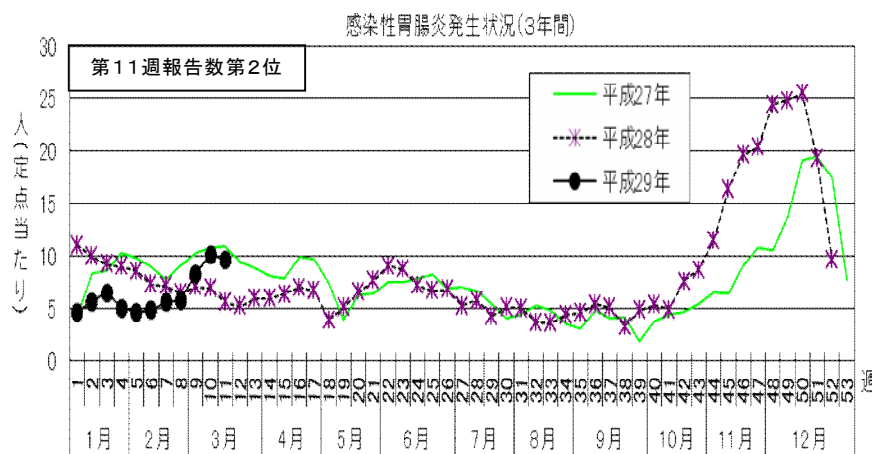
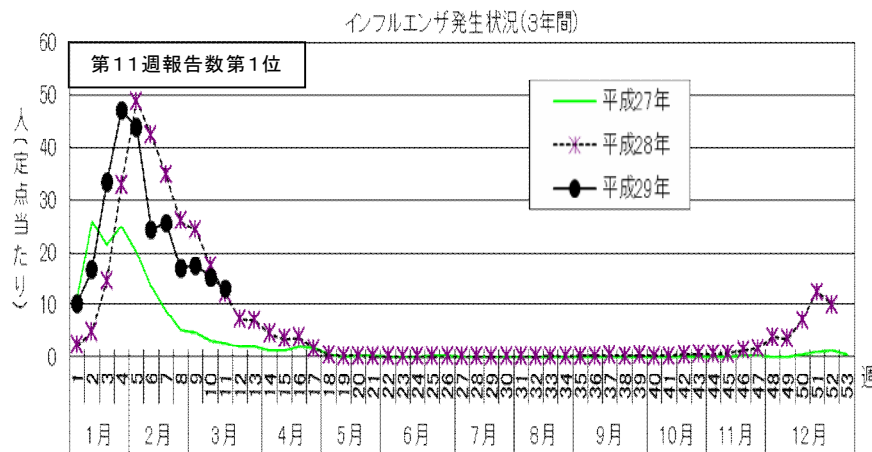
平成29年3月13日（月）～平成29年3月19日（日）〔平成29年第11週〕の感染症発生状況

第11週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)インフルエンザ 2)感染性胃腸炎 3)流行性角結膜炎でした。

インフルエンザの定点当たり患者報告数は12.98人と前週（15.27人）から減少し、例年並みのレベルで推移しています。

感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は9.67人と前週（10.14人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。

流行性角結膜炎の定点当たり患者報告数は3.11人と前週（2.11人）から増加し、例年よりかなり高いレベルで推移しています。



麻疹（はしか）の感染に気を付けましょう！！

麻疹は、急性の発熱・発疹性疾患で、麻疹ウイルスを原因とする感染症です。非常に感染力が強く、麻疹に対して免疫のない人が感染すると、ほぼ100%発症します。

平成29年1月以降、海外からの輸入例を発端とした麻疹の地域流行が全国各地でみられています。春休みを利用して海外に行かれる方も多いと思いますが、特に流行地域を訪れる際は、事前にワクチン接種を済ませる等、対策が必要です。

麻疹（はしか）とは？

【感染経路】

空気感染、飛沫感染、接触感染

【潜伏期間】

7～18日（最長21日程度）

【主な症状】

発熱、咳、鼻水、結膜充血、発疹
 （風邪様症状で始まり、38℃程度の発熱が2～3日続いた後やや下降し、再び39℃以上の高熱と共に発疹が出現します。）

【合併症】

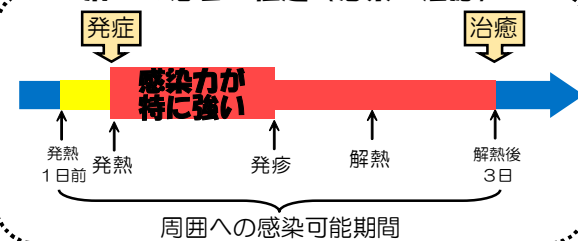
肺炎、中耳炎、
 脳炎（1000人に1人程度）、
 亜急性硬化性全脳炎（10万人に1人程度）

【予防方法】

ワクチン接種



麻疹患者の経過（感染～治癒）



特にご注意ください！！

過去に、り患歴もワクチン接種歴もなく、流行地から帰国後、おおむね2週間以内に発熱、咳、鼻水、結膜充血等の症状がみられた場合は、麻疹の可能性もあります。

医療機関を受診される場合は、必ず事前に感染の疑いがあることを電話で伝え、指示に従ってください。